

宇都宮大学農学部附属演習林報告執筆基準

制 定 昭和52年 1 月19日

一部改正 平成元年 2 月23日

一部改正 平成11年 3 月17日

1 原稿の形式は次のとおりとする。

論文：1) 表題, 2) 要旨 (和文及び欧文), 3) 本文, 4) 引用文献, 5) 図, 表, 写真 (それぞれ別紙とし, 台紙に張り付ける)

資料：1) 表題, 2) 本文, 3) 引用文献, 4) 図, 表, 写真 (それぞれ別紙とし, 台紙に張り付ける)

表題には, 和文原稿の場合, ①和文表題 ②著者名 ③欧文表題 ④著者のローマ字書きフルネーム及び⑤欄外脚注を記載する。欧文原稿の場合は, ③, ④, ①, ②, ⑤の順に記し, いずれの場合もページを改めて本文を書くこと。

原稿には, 次の各項を記載した別表を添えること。

①氏名 ②表題 ③原稿の種類 ④原稿用紙の枚数 ⑤図, 表, 写真のそれぞれの数量 ⑥別刷の所要部数 ⑦連絡責任者 ⑧その他

2 原稿は新かなづかいにより, 学術用語以外は当用漢字を用いる。

3 和文原稿はワードプロセッサ等を用いて作成し, A 4 判の白紙に上下左右 3 cm 程度の余白をとり, 横30字×縦20行に整える。

欧文原稿はワードプロセッサまたはタイプ打ちとし, A 4 判の白紙に上下左右 3 cm 程度の余白をとり, 2 段送りで作成する。欧文は原則として英文とする。

4 要旨は, 原則として和文約500字以内, 欧文約300字以内とする。要旨の最後に, 論文内容を的確に示すキーワード (日本語及び欧語) を 5 語以内記載する。

5 継続研究の報文表題は, 主題の 1 報, 2 報などの表示は (I), (II) とし, 副題については(1), (2)とする。

6 活字体にゴシック体を指定するときはForestryのように波線の, イタリックを指定するときはForestryのように直線のアンダーラインを朱記すること。

7 動物, 植物の和名はカタカナで書き, 学名は属, 種, 変種, 品種部分はイタリック体で書く。

8 数字はアラビア数字を用い, 百万, 千の桁にカンマをつける。二, 三などの漢数字の使用は三角形, 二重結合, 二三の例, などに限る。

9 単位は原則としてc. g. s単位系を用い, 慣用となっている略字によって記載し, ピリオドはつけない。

- 10 外国の人名，地名及び欧語の用語などは原語のままとするが，慣用的に広く用いられる場合はカタカナを使用してもよい。

例：アメリカ，ポアソン比

- 11 図，表，写真は1件ごとに別紙とし，表題にはそれぞれ通し番号をつける。また，上端欄外右に，鉛筆で著者名，通し番号をつける。

- 12 図，表，写真を入れたいおよその位置を，本文原稿該当箇所の欄外右に朱記して指定する。本文中には空白を設けない。

- 13 図は印刷される大きさの約2倍大に描く。トレーシング用紙など薄手の紙を用いた場合は，必ず白色厚手台紙にはる。表題は図の下方に記載する。

- 14 表は原則として1ページに印刷できる限度以下とする。表の縦けいは原則として省き，横けいもできる限り省略する。表題は表の上方に，注は表の下方に記載する。

- 15 写真は鮮明なものをを用い，はぎとりやすい程度に台紙にはりつける。表題及び注は，台紙の下方に記載する。

- 16 引用文献は著者名のアルファベット順に配列する。共著者は全員記載すること。学術雑誌の略名は慣例による。

17 引用文献の記載例

雑誌：番号）著者名：表題，雑誌名，巻（号），最初のページ—最後のページ（年号）の順に記載する。通年ページのある雑誌は号を省いてもよい。巻は太字とする。

例1）井上源基：タワーヤード集材における適正索張り線密度の検討，森利学誌，13（2），p99—110（1998）

例2）Yoshizawa, N. & Idei, T.: Comparative histochemistry of wood cell wall degradation by white-rot fungi. Bull. Utsunomiya Univ. For., 25, p23—38（1989）

単行本：番号）著者名：書名，発行所，所在地，ページ，年号の順に記載する。編を記載する場合は発行所の前に編を入れる。

例1）梅田三樹男・辻隆道・井上公基：標準功程表と立木評価，日本林業調査会，東京，p79—81（1982）

例2）Preston, R. D.: "The Formation of Wood in Forest Trees", Zimmermann, M. H. ed., Academic Press, New York, p12—35（1964）